



『ヤクーバとライオン』を振り返って・・・

<みんなの感想より>

- 周りに合わせたりしないといけないこともあるけど、自分の正しいと思う道を進むために、周りに流されないことも大切だなと思いました。(女子)
- 自分の思う正義を貫くのはとてもかっこいいなと思った。(男子)
- ヤクーバは、「弱っているライオンを殺して戦士になった」という罪悪感をこれから的人生でずっと背負って生きないといけなくなるから、それが嫌だったんだと思った。(女子)
- 勇気の意味が、僕の中で変わったと思った。失敗の重みを知ってから行動をすることこそ本当の勇気だと知った。今まで僕が勇気のある人だと思っていた人は、失敗の重みを知っていると思った。(男子)
- 勇気にはいろいろな種類があって、勇気をふりしぶる前はモヤモヤした心も、勇気をふりしぶった後には必ず良かったと思えるのかなと思った。(女子)
- 勇気の種類はいろいろあるけど、決断した後、後悔しない道を選んでいきたいと思った。(男子)
- ヤクーバと違ってまずライオンを殺す勇気がないので、ライオンを見ただけで、隠れたり逃げたりすると思います。ヤクーバの勇気はすばらしいと思ったし、もしライオンを殺していたら、ただの「弱いものいじめ」だと思います。(女子)
- これからの自分は、自分だけの「勇気」じゃなく、みんなのための「勇気」にしたい。(男子)
- 本当に勇気のある人は、事あるごとに自分をさせいにしたり、自分の事を全て優先したりするのではなく、考えて、一番させいが少ない選択して、最後には、自分よりも相手を優先できる人だと思った。(女子)
- ライオンも普通は殺さないでくれと言うはずなのに、選択をさせる所がすごいと思った。(男子)
- 私は仲間はずれにされるのが怖くて、人に流されてしまうことが多いので、自分の意志を正しいと思い、それを貫いたヤクーバは本当にすごいと思いました。(女子)
- 自分のした事が正しいと思うなら、それを主張してもよかったです。そういうことができるのも、私は勇気がある行動だと思う。(女子)
- 本当の勇気は、そのとき自分がどんな行動をしたらどうなるか、そして、それによってどういう結果になるかを考え、最善の選択をできることじゃないかと思った。(男子)
- 勇気のある人は、いろいろ考えて行動できる人だと思った。(女子)
- これからは、勇気という言葉の使い方を気をつけたいです。(男子)

絵本「ヤクーバとライオン」の主人公ヤクーバは、ライオンを殺すか殺さないかの二つの選択を迫られます。どちらを選択するかで、その後の自分の人生が決まってしまうとしたう。みなさんはどうやって決断しますか。みなさんにとっては、自分の生活とは少しかけ離れたお話だったかもしれません。でも、自分の身近なことに置き換えて、「勇気」について考えられた人もたくさんいました。この本にはたくさんの勇気が出てきますが、何を勇気ある行動と思うかは人によって違います。何を大切にするのか。自分はどうしたいか。何かを決断するときに大切なことは、自分が後悔しないことではないでしょうか。

自分の中の「正義」に従って、勇気をもって選択し、後悔しない道を進んでほしいです。